

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年12月27日(2024.12.27)

【公開番号】特開2024-62875(P2024-62875A)
【公開日】令和6年5月10日(2024.5.10)
【年通号数】公開公報(特許)2024-085
【出願番号】特願2022-171015(P2022-171015)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 5 1

10

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月19日(2024.12.19)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項1
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【請求項1】
複数のマスからいずれか1つのマスを決定するルーレット演出を実行可能とし、
ルーレット演出は、複数のマスのうち1のマスから次のマスに順次移動していく表示態様のエフェクト表示を行った後、所定のマスで停止時のエフェクト表示を行うことが可能な演出であり、
1のマスから次のマスに順次移動していく表示態様のエフェクト表示が複数のマスを一巡する時間「T1」は、停止時のエフェクト表示における点滅するような表示態様における点滅時間間隔「T2」より長い
ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第14実施形態）は、

複数（たとえば「3」個）のマスからいずれか1つのマスを決定するルーレット演出を実行可能とし、

40

ルーレット演出は、複数のマスのうち1のマスから次のマスに順次移動していく表示態様のエフェクト表示を行った後、所定のマスで停止時のエフェクト表示を行うことが可能な演出であり、
1のマスから次のマスに順次移動していく表示態様のエフェクト表示が複数のマスを一巡する時間「T1」（「75.3」ms）（図199中（1））は、停止時のエフェクト表示における点滅するような表示態様における点滅時間間隔「T2」（「50.2」ms）（図199中（2））より長い
ことを特徴とする。

50